

長野県リニア駅 広域活用の取り組み【リニア整備推進局】

資料3-2



リニアの開業効果を県内に広域的に波及させていくため、駅高架下空間の利活用、リニア駅アクセスの検討、駅舎デザインなどの検討を市町村・関係機関と連携して進めていく。

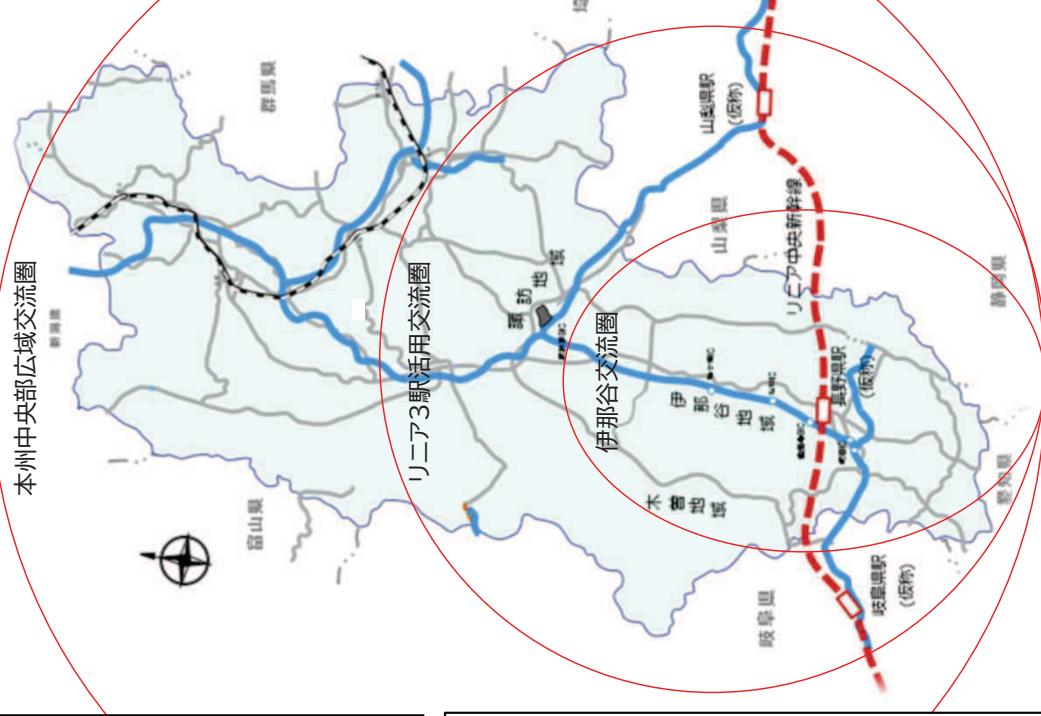
■リニア駅アクセスの検討(広域的二次交通)

・リニア駅の広域的な二次交通を確保するために、地域間移動の人流を分析するなど、リニア駅と県内主要都市や観光地へのアクセスについての検討を進める

・リニア駅アクセスの新たなモビリティ実現可能性についての検討を進めること

引き続き、リニア駅アクセス検討会議で広域的な見地からの検討を進め、伊那谷自治体会議に報告

戦略的C②



■リニア駅(仮称)の駅舎デザイン

・飯田市が整備する駅前広場との調和を図りながら、**広域的な観点から、長野県の南北の玄関口としてふさわしい施設となるよう、駅舎デザインについて飯田市と連携し、JR東海への要望・調整を図る**

戦略的C①



出典:JR東海資料※

出典:飯田・リニア駅前空間デザイントート※

※上記の駅舎の形状、デザインは、現段階で決定しているものではなく、協議・検討のためのイメージ図です。

■リニア駅高架下空間の利活用

・伊那谷の観光情報や交通情報のほか、幅広くサービスを提供するための高架下空間とするために、周辺市町村や関係機関が広く参画できるよう、飯田市と共同事務局のもと、機能と施設配置について検討を進める

引き続き、リニア駅前広場活用検討会議で広域的な見地からの検討を進め、伊那谷自治体会議に報告

戦略的C⑥

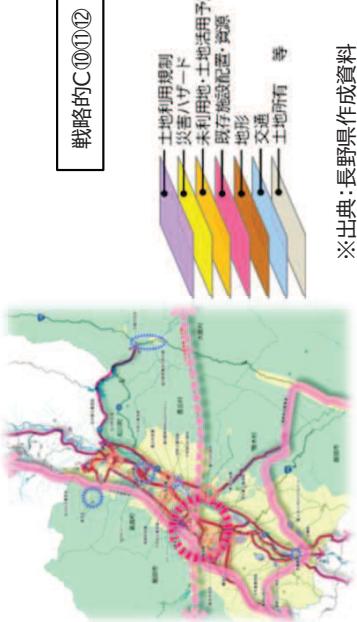


※出典:飯田・リニア駅前空間デザイントート

・リニア長野県駅(仮称)近郊の将来的な土地利用について、市町村と連携して民間企業との対話による**サウンディング型市場調査を実施**し、企業、研究機関、省庁等誘致の可能性、開発するまでの課題、様々なアイデアや各種条件等の整理を行う

・調査により得られた知見を伊那谷に拡大

戦略的C⑩⑪⑫



※出典:長野県作成資料